

# 松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 417号 2021年(令和3年)5月号

このところの暖かい日差しが続いて、桜の開花がいつもより早まり、関東一円でも桜が満開を迎えているようです。3月22日には一都3県の「緊急事態宣言」が解除されたことと相まって桜の名所では、「3密」を避けながら人出が多くなっているようです。ご承知のとおり、宣言が解除されたとは言え、感染力が強いとされている新型コロナの「変異ウイルス」が蔓延しつつあると言われており、特に全国の都市部で感染者数が下げ止まり(再拡大の兆し?)になっています。コロナ禍の終息の頼みの綱はワクチン接種ですが、高齢者に対する接種は早いところで4月より開始との情報もありますが、あと2~3ヶ月は今の自粛生活は継続となりましょう。この非日常生活が長引く中で、とかく疎遠になりがちな人間関係を大切に、心身共に健康に留意しながら、今しばらく辛抱しなければなりません。かかる状況下に、コロナ禍に打ち勝つことを旗印にしての「オリンピック聖火」が3月25日に福島を出発しました。世界が注視している今夏東京での「世紀の祭典」が無事成功することを願わずにはられません。

自治会館が4月1~30日の間、使用禁止となりました。

4月度は総会・定例会の開催を中止し、書面による決議方式としました。(提出期限3月29日)

その結果、1から5までの議案全て、会員数(3月末:59名)の未提出2名以外は賛成でした。ただ、太鼓・鳴子担当の釘宮男也氏から体調不良なので辞退したいとの申し出があり、那須嗣夫氏にお願いしました。ご了承ください。ご意見がありました会則の活動費の金額の妥当性やマンネリを防ぐための方法については、今後、検討したいと思います。

現時点で5月度定例会は自治会館が使用できるかどうかに関係しますので、判明次第開催の有無をお知らせ致します。

1. 5月誕生の方々:柏田邦子さん、竹村喜久治さん、明利鈴子さんです。おめでとうございます。

## 2. 連絡事項

- (1) 会員の異動:太田朝子さん・岡本トミ子さんが退会。長い間、有難うございました。
- (2) 各班長さんは年会費(1,200円)を4月5日頃までに徴収し、竹田までお届けください。
- (3) お楽しみ弁当:正月に予定していた「お楽しみ弁当」は次回定例会開催時にお配りします。
- (4) その他:4月1日に茅ヶ崎市老人クラブ助成事業補助金の申請手続きを行いました。

(5) その他：4月1日に茅ヶ崎市老人クラブ助成事業補助金の申請手続きを行いました。

リレー随筆(7)

柏田邦子

### 人生いろいろ — ふるさと

私の故郷は宮崎県です。日豊本線に乗って日向市駅で降り、山と山に挟まれた細長い峡谷に歌人の若山牧水の生家があります。近くに牧水記念館も建てられており、そこには牧水の歌人としての作品が展示されています。そこから南の方へ30分車を走らせた所に、まとまった家並みがあり、そこが私の育った小さな村です。近くに10段位の石段を登った所に小学校があり、右手の向こう側に奉安殿という建物がありました。いつも教室に入る前には、この奉安殿に一礼をしていました。戦前の学校には必ず設置されていたもので、天皇、皇后両陛下のお写真及び教育勅語が安置されていた建物でした。校舎は明治5年に建てられた木造2階建てで愛着のある学校でした。自然豊かな四方山に囲まれて、霧が深く雲海が見えるホットする処です。

近年は過疎化が進み、学校は解体されて子供達の声もなく、静かな村になっております。

「ふるさとに 帰りきたりて まず聞くは かの城山の 時つぐる鐘」 若山牧水

(次回は中井さんをお願いします)

つれづれ随想

田中久夫

### 雀の子

我が家では鳥の餌付けをしているが、来るのは雀中心である。一羽でくる雀、つがいでくる雀、グループでくる雀などさまざまである。いつも一羽でくる痩せた雀を、ちょこちょこしているところが、家内に似ているので、名前の一文字をとって「淳平」と名付けた。最近、その淳平が仲間を連れてくるようになった。多分恋人、いや恋スズメであろう。子供と思っていた淳平に、もう恋人が。鳥も隅に置けないものである。それにしても今の雀は、落ち着きがないし、直ぐ逃げてしまう。昔、小林一茶が「雀の子、そのけ、そのけ、お馬が通る」と読んだが、鳥の性格も、時代によって変わってきたのであろうか。



世界遺産：日本シリーズ—沖縄首里城（2019年の焼失前）

亜熱帯の島・台湾 島内中部を横切る「北回帰線」の通過ポイントを示す塔（真野さん提供）